助産雑誌
Back Number

★バックナンバーのお取り扱いについて

① 2016 年 7 月号以降の雑誌は，医学書院受注センター（TEL：03-3817-5666）にて承ります。

② それ以前の号についてのご注文や在庫のご照会などは，下記へお願いいたします。
株式会社東亜ブック　〒178-0061　東京都練馬区大泉学園町 5-27-11
TEL：03-5947-4781　FAX：03-3923-4539

2018 年 6 月号

特集
助産師が行なう産後ケア
自立を支援する視点から

「産後ケア」の今後の発展につなげるため，「助産師が中心となって行なう産後ケア」について，自立支援の必要性や，具体的内容，地域やクリニックでの実践報告を含めて紹介しました。また，台湾における産後ケア施設の実際や社会的背景も紹介しました。

2018 年 5 月号

特集
暴力被害から女性を救う
助産師が担う大きな役割

女性への暴力は生まれてくる子どもにも影響を及ぼします。助産師の機転や気づきが母子を救うきっかけにもなり得ます。特集では，DV 被害を受けた女性や子どもおよび性暴力被害にあった女性を守るために，助産師にできる具体的な行動や情報を提示しました。

2018 年 4 月号

特集
産科混合病棟の中で助産師にできること

少子化を背景に，産科病棟の混合化が進行しています。その問題点は，安全で安心な出産環境の確保が難しくなることです。特集では，産科混合病棟の現状について，最新のデータを示しながら課題を解説し，解決策を提案しました。

2018 年 3 月号

特集
10 年目を迎えた 産科医療補償制度と助産師

産科医療補償制度がスタートしてから約 2000 件が補償対象として認定されたほか，複数の再発防止策の提言も行なわれてきました。特集では，今後の産科医療の質向上に向けて，それらの活動から助産師として学べることを知り，共有したいと考えます。

2018 年 2 月号

特集
母乳育児と乳がん

乳がんへの不安・関心は年々高まってきています。特集では，助産師がかかわるであろう周産期の乳がんについての基本的な知識を整理しました。そして，乳がん合併妊娠女性，乳がん治療後の女性に対する，母乳育児も見据えた支援を具体的に解説しています。

2018 年 1 月号

特集
私の会陰保護技術を振り返る

会陰保護において，経験をつんだ熟練助産師と新人助産師ではどこに違いがあるのでしょうか。また，中堅助産師になると，他者から自分の技術を評価してもらう機会はなかなかありません。誌上で会陰保護技術の振り返りを行ない，技術の極意をつきつめてみます。

2017 年	特集
12 月号	周産期ボンディング障害を知っていますか？
11 月号	ダウン症のある児をもつ親の将来の不安に寄り添う
10 月号	助産師は父親をどう支えるか
9 月号	とても大事な産後 2 週間健診
8 月号	大学院で助産を学び直す
7 月号	妊産婦の筋･骨格を理解して助産ケアへ活かす！
6 月号	超音波検査の今と助産師のかかわり方

©IGAKU-SHOIN Ltd, 2018

2026/09/13 13:43:09